

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		杉並芸術会館の維持管理		款	3	項	1	目	3	事業	3	整理番号	76							
担当部課名		区民生活部文化・交流課		係名	文化振興担当			連絡先電話番号	1695		昨年度整理番号	72								
上位施策No・施策名		66 文化・芸術活動の基盤整備		予算事業区分								既定事業								
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	15	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業		分野	4	政策番号	4	施策番号	2	事業コード	3	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input type="checkbox"/>	主要事業
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 文化・芸術活動を行う区民及び関係団体等																		
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○演劇、舞踊等の舞台芸術の創造及び発信並びに区民の文化活動の拠点として、芸術文化の振興を図ります。 ○区民との協働により施設を運営し、地域の賑わいの創出など、地域の振興を図ります。																		
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○協定に基づく指定管理業務を実施する。 ○芸術監督を設置し、芸術文化普及振興事業を計画・企画する。 ○運営評価委員会により、芸術文化普及振興事業や施設の運営管理について評価する。																		
根拠法令等		(1) 杉並区立杉並芸術会館条例 (2) 杉並区立杉並芸術会館条例施行規則																		
活動指標名(式)		(1) ホール(B・C)の貸出し回数=3時間帯×開館日×2室 (2) 芸術文化普及振興事業の実施延回数																		
成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標																		
成果指標名(1)		ホール利用率																		
算定式・指標の説明等		ホール年間延利用回数÷年間延貸出可能回数×100																		
成果指標名(2)		芸術文化普及振興事業への参加者数																		
算定式・指標の説明等		公演事業の年間延観客動員数+教育的事業への年間延参加人数																		
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %									
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績											
指標	活動指標(1)	①	回	0	857	1,806	1,886	2,008	2,016	106.5										
	活動指標(2)	②	回	0	200	530	400	470	400	117.5										
	成果指標(1)	③	%	0	80	81	80	81	80	101.3										
	成果指標(2)	④	人	0	20,000	90,000	43,000	70,000	100,000	162.8										
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	157,466	273,474	269,740	254,383	244,450	225,168	22年度予算執行率% 96.1										
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 (各年度の主な経費の推移) ○20年度…指定管理費(開館前準備業務、維持運營業務) 芸術監督費 運営評価委員会費 プレ事業委託費 ○21年度、22年度…指定管理費(維持運營業務、芸術文化普及振興実施業務) 芸術監督費 運営評価委員会費 指定管理者選定委員会費(22年度のみ)										
	(内)委託費	⑦	千円	149,208	255,148	255,107	241,983	237,412	220,598											
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.00 0.00	1.00 0.00	1.23 0.00	1.00 0.00	1.24 0.00	1.00 0.00											
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	9,050	8,879	10,921	8,920	11,061			8,920								
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0											
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	166,516	282,353	280,661	263,303	255,511	234,088											
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円		329,467	155,405	139,609	127,247	116,115											
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0			0								
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0			0								
		都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0			0								
		その他の補助金等	⑯	千円	0	13,000	10,000	7,500	2,500			580								
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	13,000	10,000	7,500	2,500	580											
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	166,516	269,353	270,661	255,803	253,011	233,508											
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0												

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 76

22年度の事業実施状況	内容	規模	単位		事業費(千円)
			単	位	
(1)主な取組み	管理運営委託(指定管理者)	1	館		236,400
	芸術監督報酬				4,200
	運営評価委員会開催	3	回		253
	指定管理者選定委員会開催	1	回		84
	その他()				3,513
(2)事業実績	指定管理制度により、芸術監督の監修のもと年間を通じて様々な芸術文化普及振興事業を実施するとともに、区民等への施設の貸出業務や保守管理業務等、施設の維持運営を行いました。運営評価委員会を開催し、これまでの実施・運営状況について評価を求めました。平成23年度からの第二期指定管理について、期間を5年(平成23年度～27年度)とし、第一期の指定管理者を引き続き指定しました。				

協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)
	(3)協働等の形態 指定管理者	(4)協働等の今後のあり方 実施継続

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	①高円寺会館改築後の施設(杉並芸術会館)に、劇場機能など芸術文化振興の拠点施設としての機能を盛り込むことになりました。 ②施設の運営に関しPFI方式も検討されましたが、指定管理者制度を導入することになりました。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	小劇場(座・高円寺1)や、高円寺会館の機能を引継ぐ区民ホール(座・高円寺2)、阿波おどり利用を優先した阿波おどりホール等を有し、多くの人々が集い、新しい時代の個性的な芸術文化施設として、地域住民や文化関係者から高い関心と期待が持たれています。
	今後の予測	地域住民の文化芸術活動・阿波おどりの活動や、「高円寺4大まつり」を始めとした地域イベントの拠点となり、高円寺や杉並の魅力を発信していくとともに、区内外からの多くの来場者による高円寺地域の一層の活性化が期待されています。
評価と課題		「座・高円寺地域協議会」の活動を中心として、高円寺の街が本施設を支援していく機運が生まれ、また、「高円寺4大まつり」の開催が定着し毎回多くの来街者を集める等、地域活性化への動きにつながっています。今後は、活性化の効果を経年的に明らかにしながら、その動きを上げ、高円寺地域の一層の活力の向上につなげていきます。 区の文化振興施策において、杉並公会堂、文化協会等との関係を整理し、本施設の位置付けを明確にしていきます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	● 事業内容の変更 ○ 実施方法の変更
指定管理第一期での維持運営状況や芸術文化普及振興事業の実績を踏まえ、第二期目(5年間)は、指定管理者がステップアップした運営を行っていただけるようにしていきます。維持運営については、より効率的で利便性の高い形態を目指します。また、芸術文化普及振興事業については、広報PRを協力して行うことにより公演チケットの販路やワークショップ参加者の拡大を支援したり、助成金・賛助金の獲得に必要な情報提供を行う等により、指定管理者のインセンティブを保ちながら、本施設ならではの良質で多彩な事業を提供できるようにしていきます。 また、「座・高円寺地域協議会」の活動を支援する等により、事業者と地域との協働を深めながら、地域イベントの拡大等継続的な取り組みを行い、活性化の効果を更に発揮できるようにしていきます。			

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		郷土博物館の運営管理		款	7	項	5	目	1	事業	11	整理番号	548	
担当部課名		教育委員会事務局郷土博物館		係名				連絡先電話番号	3317-0841		昨年度整理番号	543		
上位施策No・施策名		66 文化・芸術活動の基盤整備						予算事業区分		既定事業				
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	元	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		博物館利用者		根拠法令等		(1) 博物館法 (2) 杉並区立郷土博物館条例						
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか)		○歴史的・文化的資料の収集保存・調査研究活動を行い、展示等各種事業を通じて、利用者に杉並の歴史文化を知ってもらおうとともに、区民の杉並への理解と関心を深め愛着心を高める。		活動指標名(式)		(1) 企画展・講座・教室等事業実施回数 (2) 収蔵資料総数						
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)		○資料の収集・保管、調査・研究、寄贈・寄託 ○展示、子供博物館教室、講演会等各種行事の周知・実施 ○学校教育等への支援・連携 ○研究紀要・年報等の発行		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標						
				成果指標名(1)		事業参加者数		算定式・指標の説明等						
				成果指標名(2)		アンケート結果		算定式・指標の説明等		満足を3、普通を2、不満を1とした平均点				
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度	計画(目標値)に対する22年度の達成率 %				
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画						
指標	活動指標(1)	①	回	40	40	48	45	47	45	104.4				
	活動指標(2)	②	点	128,455	129,100	136,377	137,400	137,040	138,040	99.7				
	成果指標(1)	③	人	50,866	55,000	51,276	55,000	52,599	55,000	95.6				
	成果指標(2)	④	点	2.65	2.80	2.56	2.80	2.65	2.80	94.6				
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	15,809	21,048	14,158	17,137	10,662	15,146	22年度予算執行率%		62.2		
	(内)投資的経費等	⑥	千円	564	1,276	370	400	0	400	特記事項 事業経費見直しによる減と展示経費・運営管理委託準備経費不要額による残です。				
	(内)委託費	⑦	千円	5,524	5,080	2,768	4,695	3,428	3,611					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	5.01 11.00	3.50 12.00	3.97 12.00	3.50 11.00	3.91 11.00	3.00 13.00					
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	45,341	31,077	35,250	31,220	34,877	26,760				
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	30,800	33,516	33,516	32,450	32,450	38,350				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	91,950	85,641	82,924	80,807	77,989	80,256					
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	2,284,650	2,109,125	1,719,875	1,786,822	1,659,340	1,774,578					
	財源	受益者負担分	⑬	千円	1,632	1,249	2,115	1,249	1,424	1,447				
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0				
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	1,632	1,249	2,115	1,249	1,424	1,447					
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	90,318	84,392	80,809	79,558	76,565	78,809					
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	1.8	1.5	2.6	1.5	1.8	1.8						

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 548

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		特別展・企画展・講座・教室等の開催	47	回	7,364
		博物館事業の運営管理経費			3,010
		郷土博物館運営協議会の開催	3	回	288
		その他 ()			0
	(2) 事業実績	特別展・企画展・講座・教室等の開催により、25,222人の来館者がありました。刊行物として「炉辺閑話」(2回)、「年報・紀要」、展示図録(2回)を発行しました。郷土博物館運営協議会を3回開催しました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 推進	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成19年4月郷土博物館分館開館 入館者数:平成元年17,326人、平成2年24,622人、平成10年18,884人、平成15年14,027人、平成20年13,324人(本館)・12,740人(分館)、平成21年13,155人(本館)・14,586人(分館)、平成22年13,762人(本館)・11,460人(分館)
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	展示・講座等開催した各種事業は、来館者から概ね高い評価を受けており、特に目立った要望・苦情等はありません。
	今後の予測	平成22年12月策定した「協働と生涯学習支援に向けた杉並区立郷土博物館運営方針」の実現に向けて、より一層の区民参画・協働による活性化が求められます。
	評価と課題	博物館の活性化に向けて、「協働と生涯学習支援に向けた杉並区立郷土博物館運営方針」に掲げられている今後の取り組み事項について、実現可能なものから随時実施し、より充実した博物館活動を行うことができました。今後は、平成23年度以降に取り組む事項について、引き続き実施に向け検討を行っていく必要があります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更 ● 実施方法の変更
	「協働と生涯学習支援に向けた杉並区立郷土博物館運営方針」に掲げられている今後の取り組み事項のうち、「常設展の更新」など中長期的な取り組みが必要な課題について、計画的な実施に向けた検討を行う必要があります。また、サービスの質を確保しつつ、地域やNPOに委ねられる事業については、協働を積極的に推進していきます。		

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		郷土博物館の維持管理		款	7	項	5	目	2	事業	2	整理番号	551	
担当部課名		教育委員会事務局郷土博物館		係名		連絡先電話番号		3317-0841		昨年度整理番号		546		
上位施策No・施策名		66 文化・芸術活動の基盤整備		予算事業区分		既定事業								
事務事業の概要	事業開始		平成	▼	元	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業		
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		博物館利用者		根拠法令等		(1) 博物館法 (2) 杉並区立郷土博物館条例					
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○歴史的・文化的資料を適切な状態で保存・展示し、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を維持する。		活動指標名(式)		(1) 開館日数 (2)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○本館、分館、西田小学校郷土資料展示室、松ノ木遺跡、館外収蔵庫5箇所の維持管理		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標		成果指標名(1)		入館者数		算定式・指標の説明等	
				成果指標名(2)		アンケート結果		算定式・指標の説明等		満足度を3、普通を2、不満を1とした平均点				
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %			
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画						
指標	活動指標(1)		①	日	294	295	295	294	292	295	99.3			
	活動指標(2)		②											
	成果指標(1)		③	人	26,064	30,000	27,741	30,000	25,222	30,000	84.1			
	成果指標(2)		④	点	2.63	2.80	2.63	2.80	2.58	2.80	92.1			
総事業費・コスト把握	事業費		⑤	千円	37,101	38,424	31,029	36,266	31,891	34,908	22年度予算執行率% 87.9			
	(内) 投資的経費等		⑥	千円	4,688	1,727	1,568	1,727	1,237	1,727	特記事項 光熱水費節約による執行残です。			
	(内) 委託費		⑦	千円	25,305	22,523	22,178	22,721	22,553	22,446				
	職員数(常勤 非常勤)		⑧	人	1.72 0.00	1.50 0.00	1.70 0.00	1.50 0.00	1.68 0.00	1.00 0.00				
	人件費	(内) 常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	15,566	13,319	15,094	13,380	14,986	8,920				
		(内) 非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費⑤+⑨+⑩		⑪	千円	52,667	51,743	46,123	49,646	46,877	43,828				
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①		⑫	円	163,194	169,546	151,034	162,990	156,301	142,715				
	財源	受益者負担分		⑬	千円	38	45	30	33	32				31
		国からの補助金等		⑭	千円	0	0	0	0	0				0
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	38	45	30	33	32	31					
差引: 一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	52,629	51,698	46,093	49,613	46,845	43,797					
受益者負担比率⑬÷⑪		⑳	%	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1					

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 551

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				施設保守管理委託	2
		光熱水費	2	館	6,735
		施設維持管理	2	館	3,052
		その他 ()			0
	(2) 事業実績	本館及び分館等を適正に維持管理するため、建物の保守管理及び不良箇所の修繕等を行いました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	収集・保管資料数の増加:平成元年108,045点、平成22年136,377点、平成23年137,040点 本館収蔵庫での保管が困難となり、学校(5校)の教室を保管場所としています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	最寄り駅からの案内表示が分かりにくいとの要望を受けました。
	今後の予測	開設から22年以上経過し、施設の老朽化による修繕費等の増加が見込まれます。 収蔵資料数の増加により、今後さらに保管場所の確保が必要となります。
	評価と課題	職員による施設の定期点検を実施するなど、故障箇所の早期発見・早期対応による修繕を計画的に行いました。一方、耐用年数の経過により映像装置などが使用不能となり、代替機器の導入が必要となっています。また、収蔵資料については、資料の点検・保存状況の確認・廃棄を行い、収蔵スペースの有効活用に努めました。今後は、資料の収集・廃棄を適正に進めるための基準を早急に作成する必要があります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更
	開設以来22年が経過し施設の老朽化が顕著となり、今後は中長期的な観点からの修繕計画を作成する必要があります。併せて、現状のサービスを維持するうえでは、使用不能の映像装置の入れ替えに向けた機種を選定・設置の検討も必要です。また、博物館活動を行っていくうえで、資料の収集・保存は欠くことのできない重要な要素であり、保存に十分適しているとはいえない学校収蔵庫に変えて、長期的な保存が可能な収蔵庫の整備が必要です。そのため、既存施設の改築や廃止に併せ、収蔵庫の整備に向けた協議を関係機関と行っていきます。		

特記事項	
------	--